

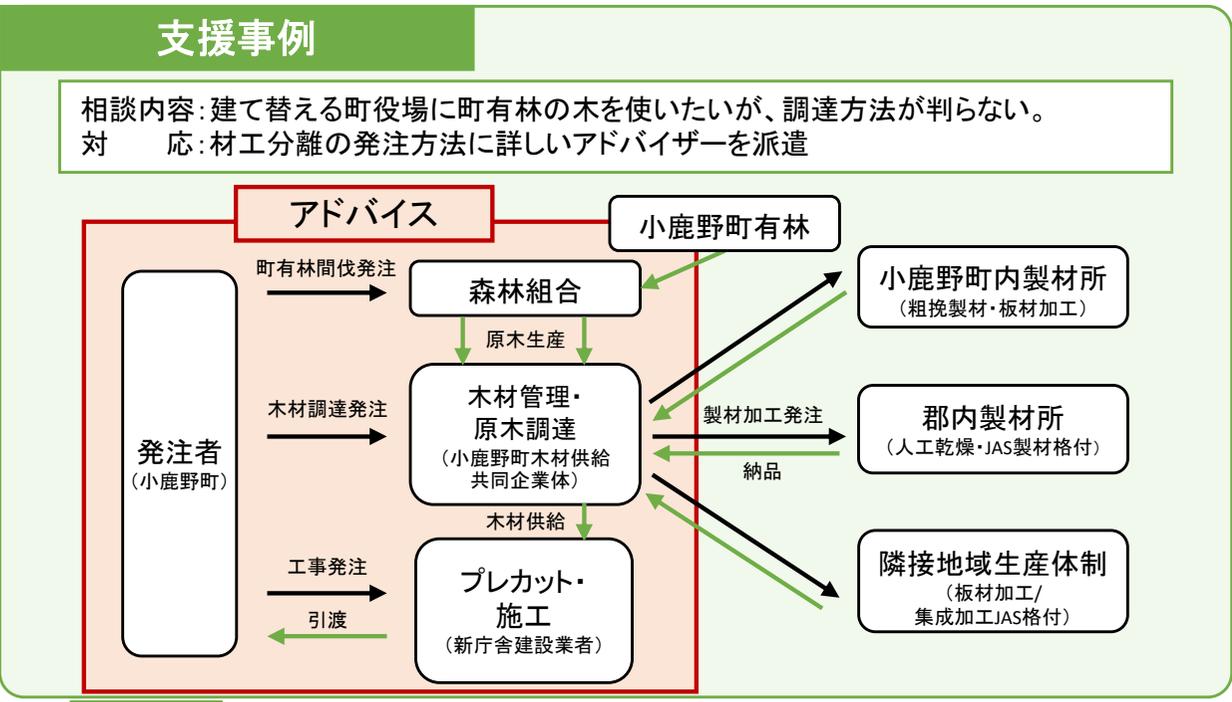
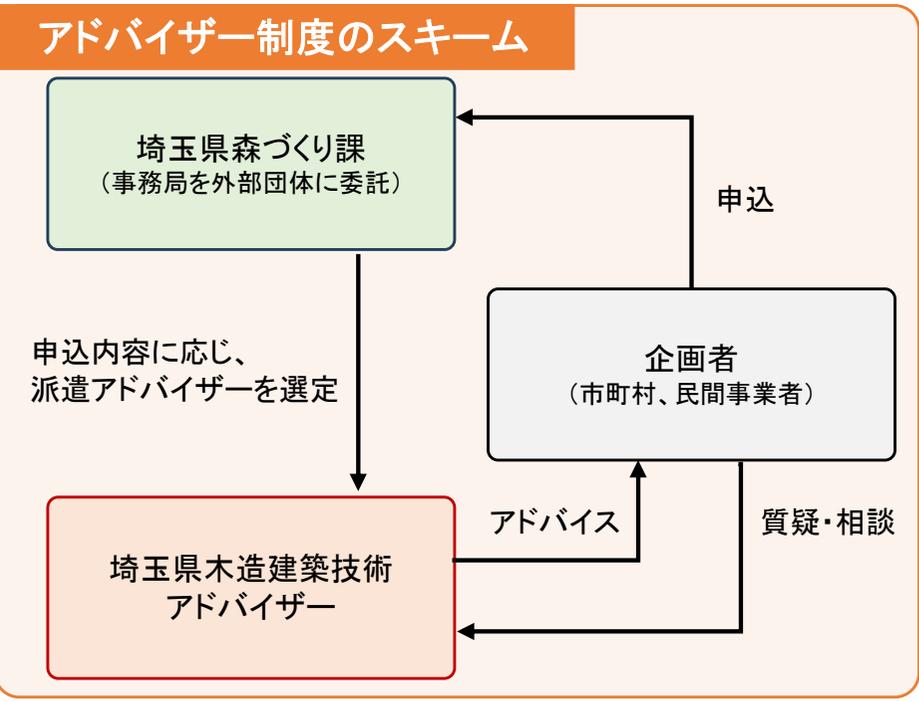
2 各都道府県のアドバイザー等を通じた支援事例

・ 埼玉県事例	27
・ 富山県事例	28
・ 山梨県事例	29
・ 広島県事例	30
・ 福岡県事例	31
・ 佐賀県事例	32



埼玉県の事例

- ✓ 埼玉県では、公共施設等での木材利用を促進するため、市町村や民間事業者を対象に、木造化に係る技術的アドバイスや県産木材の調達方法等について助言する「埼玉県木造建築技術アドバイザー制度」を運用
- ✓ 林業事業者や製材・プレカット業者、設計事務所、行政職員など幅広い分野の人材をアドバイザーとして登録し、官民連携のもと、支援体制を構築



建築実績

用途: 町役場庁舎
構造: 木造 (地上2階)
竣工日: 令和5年2月
延床面積: 2,403.73m²
木材利用量: 765m³ (うち小鹿野町産材522m³)
樹種: スギ・ヒノキ

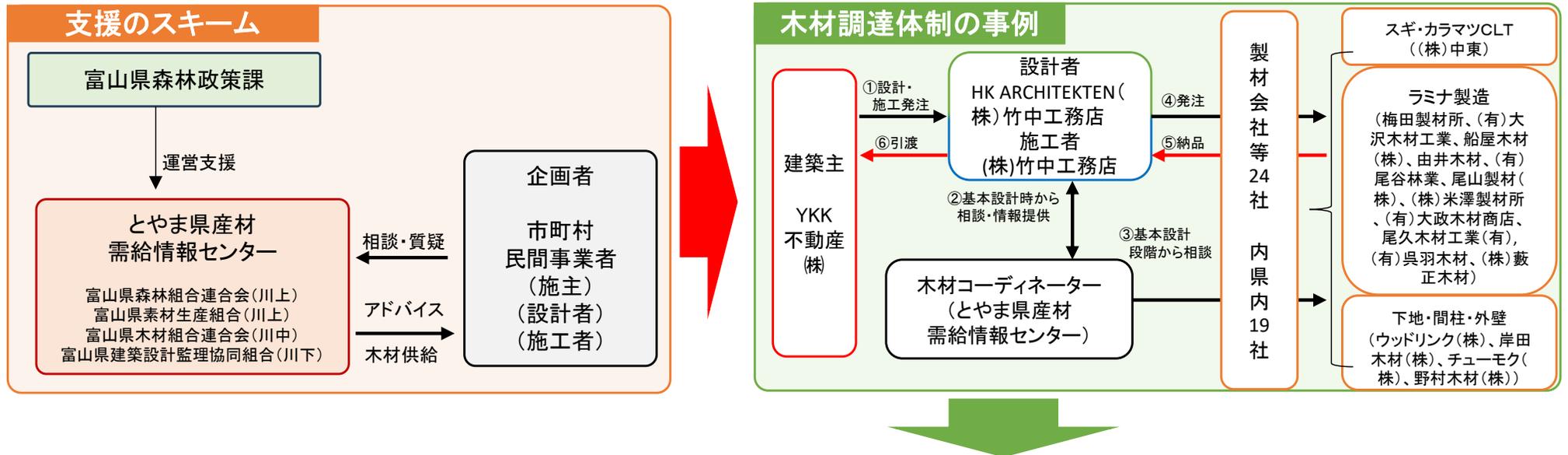
町有林伐採の様子

外観

庁舎1階

富山県の事例

- ✓ 富山県では、県産材を供給する素材生産業者（川上）の出材情報や、ストックヤードの在庫量等の供給情報と、製材工場等（川中）が求める県産材の需要情報を共有し、需給マッチングを円滑化するとともに、建設会社や工務店（川下）の県産材需要に応える体制を整備し、川上から川下までの需給情報をワンストップで提供する窓口として、平成30年度に「とやま県産材需給情報センター」を開設。
- ✓ 集合住宅の木造化にあたり、積極的に地域材を活用したいとの意向があったYKK不動産（株）に対し、県内25ヶ所からの伐採木の集荷から、県内の19社の製材業者等におけるラミナ製材・乾燥・CLT工場等への県産材1,480m³（素材生産4,110m³）の円滑な供給や調整をとやま需給情報センターが中心となって行った。



建築実績

用途：集合住宅
 構造：木造（地上6階：2棟 地上7階：1棟）
 竣工日：令和7年3月
 延床面積：6,904m²（2,268m²：2棟、2,368m²：1棟）
 木材利用量：1,670m³（約9割が県産材）
 樹種：スギ（県産材）、カラマツ
 活用した補助：優良木造建築物等整備推進事業補助金

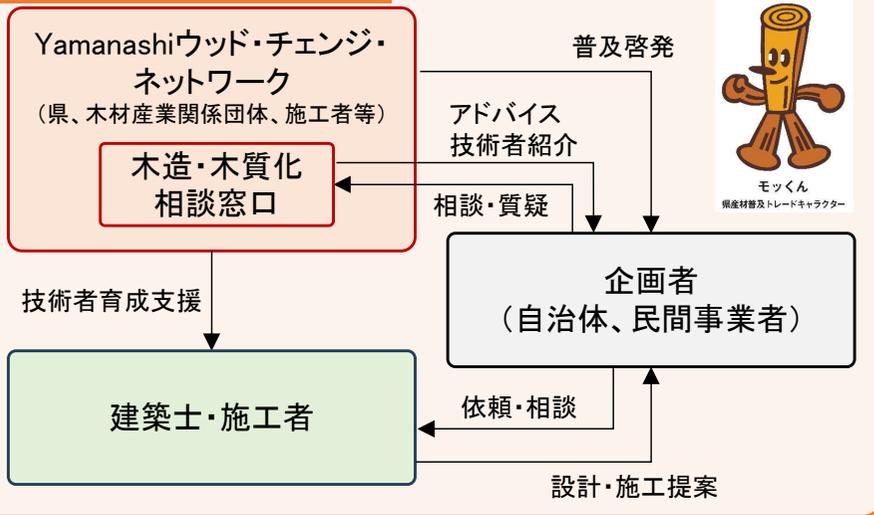


パシブタウン第5街区 外観（左） 内観（右）

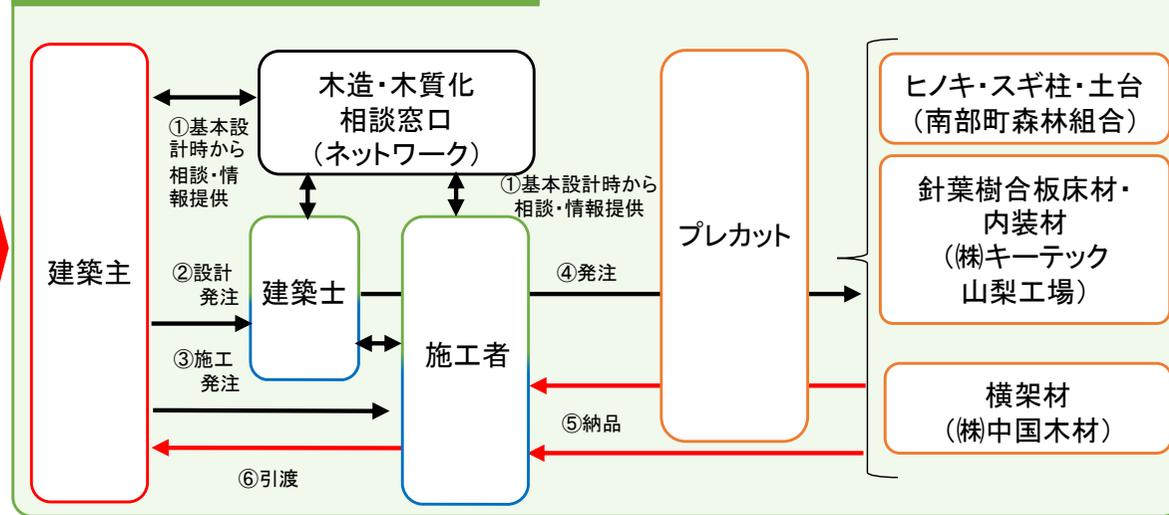
山梨県の事例

- ✓ 民間建築物等への県産木材の利用促進を図るため、県や林業・木材産業関係団体、建築設計・建設業者団体、商工関係団体で構成される「Yamanashiウッド・チェンジ・ネットワーク」を令和元年に設立
- ✓ 令和2年度から、非住宅建築物を計画する建築主を対象とした木造・木質化相談窓口を設置
- ✓ 企業向けに普及啓発番組・冊子の作成、セミナー等を開催

支援のスキーム



木材調達体制の事例



建築実績

用途：工場事務所
 構造：木造（地上2階）
 竣工年月：令和5年12月
 延床面積：643m²
 県産材利用量：構造材74m³、内装材417m²
 樹種：ヒノキ柱・土台、スギ梁桁、針葉樹床材
 活用した補助：やまなし県産材供給システム強化対策事業費補助金（県単）



内装には構造材の現しや木製天井ルーバーを採用し、木の温かみを演出

広島県の事例

- ✓ 神石高原町立くるみ保育所の設計業務に当たり、町産材の活用に加え、町産材を使う仕組づくりが検討された。
- ✓ ひろしま木造建築協議会員であるNSP設計の柴田氏は設計に当たり、①住宅用流通材を用いた経済的な設計②地元工務店が取り組めるよう、在来工法による木造設計③町産材を活用するために、立木の伐採～乾燥に係る期間を踏まえた木材調達期間を設定し、木材の地産池消及び地産地活を実現した。

項目	内容
企画・設計	<ul style="list-style-type: none"> ・町内はヒノキが比較的多いため、土台、大引、柱等にヒノキを活用した。 ・コストを抑えるため、住宅用流通材を用いた設計とした。 ・町産材の活用には当初予定した工期では木材調達期間が短かったため、設計者提案で木材調達期間分の工期を延長した。
集材・製材	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の製材所で同業者組合を設立し、町産材で調達可能な木材や必要となる木材量の事前協議を実施した。 ・施工者の入札条件に、当該同業者組合から木材調達することを記載した。 ・神石郡木材同業組合が集材と製材を担当した。
乾燥	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に対応できる乾燥施設がなかったため、距離の近い山下木材（岡山県）で乾燥させた。
プレカット	<ul style="list-style-type: none"> ・施工者により広島市内のプレカット工場で加工した。
施工	<ul style="list-style-type: none"> ・在来軸組工法とし、地元工務店が取り組めるようにした。

建築実績

用途：保育園
 構造：木造（平屋）
 竣工日：令和2年3月
 延床面積：約875m²
 木材利用量：約146m³
 樹種：土台、大引、
 柱（ヒノキ）、梁、
 間柱、母屋、垂木（スギ）

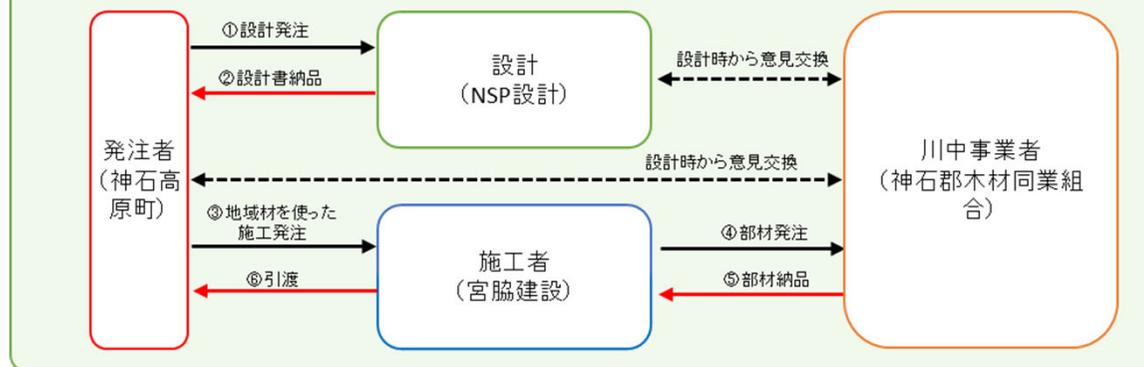


外観：大屋根が特徴的な外観



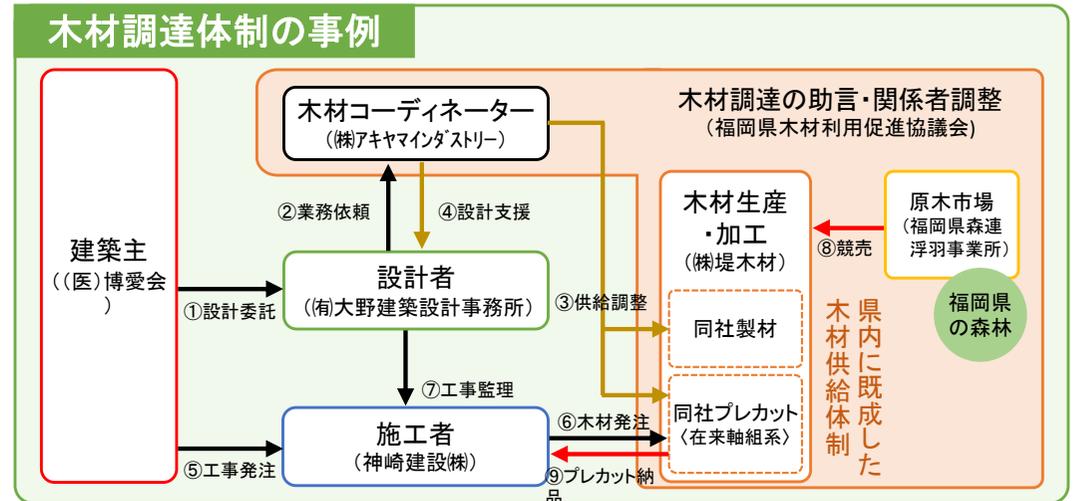
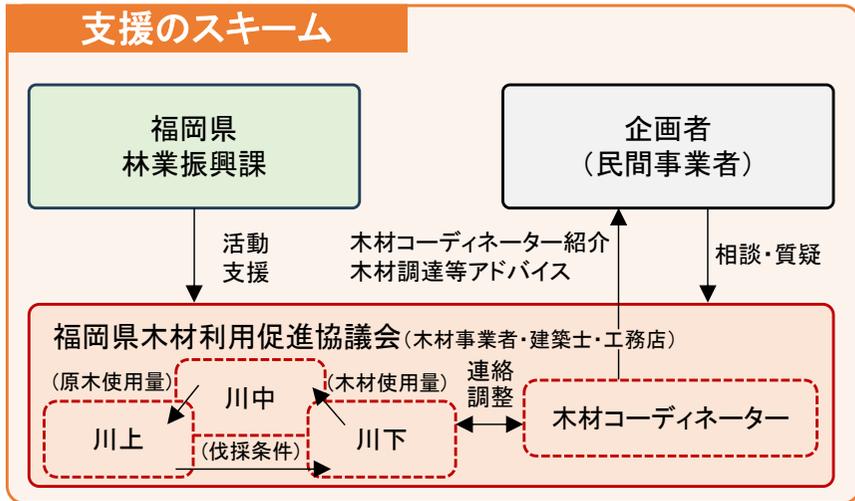
遊戯室：7.1mのSPANはトラスで対応

木材調達体制の事例



福岡県の事例

- ✓ 福岡県は、川上から川下までの県内関係者で構成する「福岡県木材利用促進協議会」における、木造ビルで使用する製材品の規格化や、それを供給するための体制づくり、市場を開拓するための相談窓口の設置といった活動を支援
- ✓ (医)博愛会は、在宅医療センターの木造化にあたり当該支援スキームを活用し、木材コーディネーターのもと木材供給側との連絡・調整を行い円滑に木材を調達
- ✓ 今後も協議会において、案件相談～木材供給までの相談窓口を一元化し、県内木材関係事業者の供給能力を生かした木造建築を実現



※()は、協議会での共有事項

建築実績

用途：病院（医療事務所）
 構造：木造（地上2階）
 竣工：令和5年10月
 延床面積：382.4m²
 木材利用量：76m³
 樹種：スギ（柱・梁・トラス）、ヒノキ（土台）
 活用した補助：無

建築主の希望

- 医療従事者のアメニティ充実を図るため、癒しの環境となる建物としたい



外観

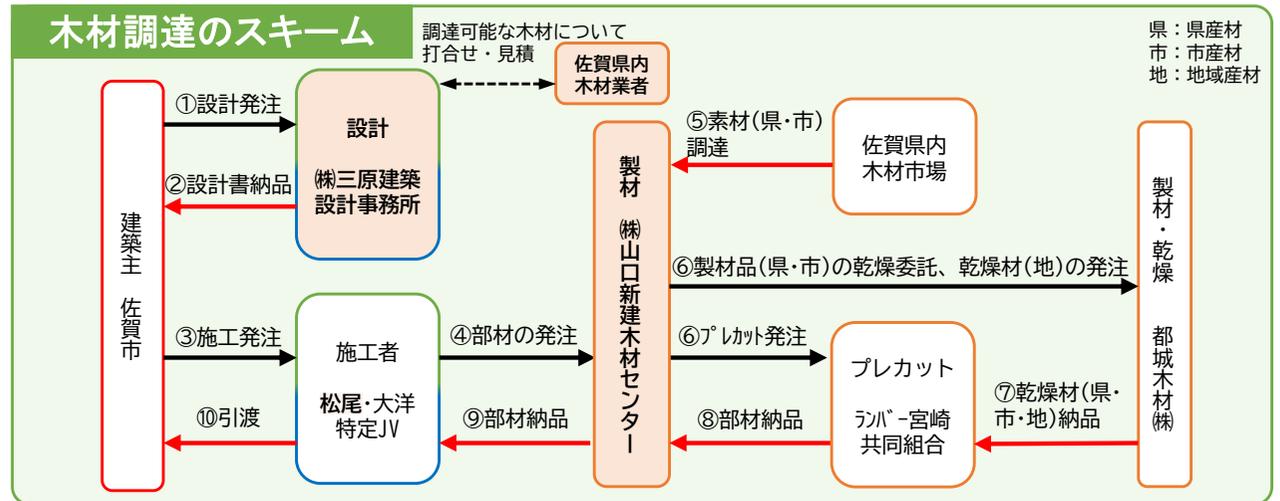
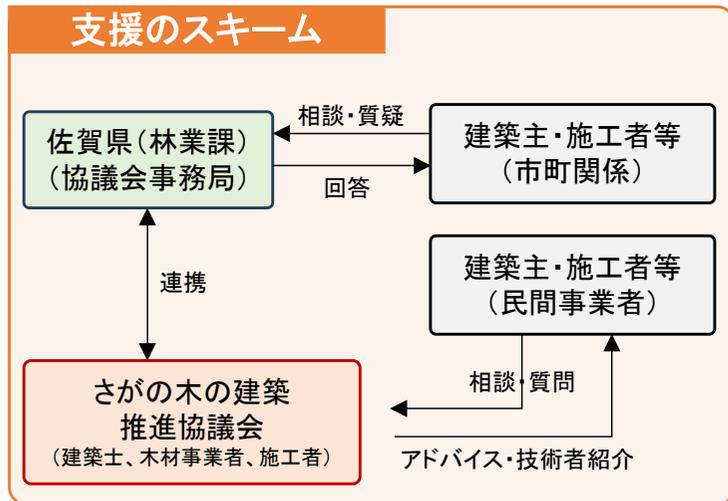


内観

105角の住宅用流通木材と在来軸組プレカッタ製品で製作した平行弦トラス

佐賀県の事例

- ✓ 令和4年に木造木質化に関する研修を修了した建築士や木材事業者などで構成される「さがの木の建築推進協議会」を設立し、建築物の企画者（施主等）が木造化に取り組もうとする際の相談窓口として活動している。
- ✓ 協議会会員がそれぞれに関わる物件において、協議会で習得した知識や会員間のつながりを活かし、建築物の木造・木質化に取り組んでいる。
- ✓ 今後も引き続き相談窓口として対応しつつ、企画者へのアプローチや会員相互の情報共有と連携に取り組んでいく。



建築実績

用途：認定こども園
 構造：木造（地上2階）
 竣工日：令和6年2月
 延床面積：1,809m²
 木材利用量：240m³
 樹種：ヒノキ(土台)、スギ(柱、梁、間柱、垂木、根太等)
 活用した補助：学校施設環境改善交付金

木材の現しを意識した多目的ホール

「ふるさとの木づくりプロジェクト」
 建物の木造・木質化に関する疑問点・不安点の解決をお手伝いします
 県内で建築予定の非住宅建築物の木造・木質化を検討している皆様へ、疑問や課題を解決するための相談窓口です。
 詳しくはこちら
 PRパンフレット

相談窓口

木造・木質化は
 “さがの木”で出来ます!